

自動車盗の発生状況(令和7年6月末)

街頭
犯罪

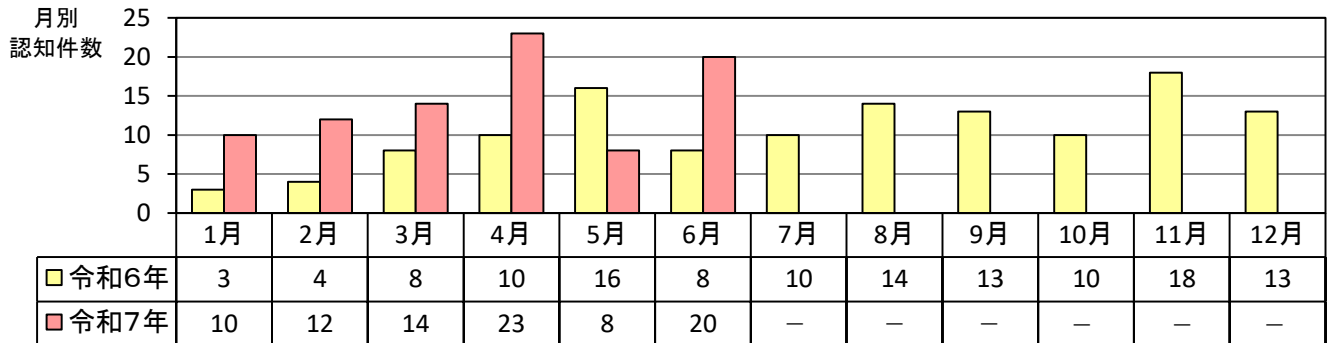
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
87	+38	+77.6%

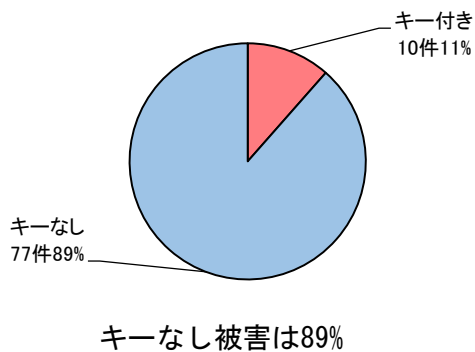
被害回復件数(前年比)	被害回復率(前年比)
14	-4
16.1%	-20.6%

※被害回復とは、検挙等で被害者に返還されたものをいう

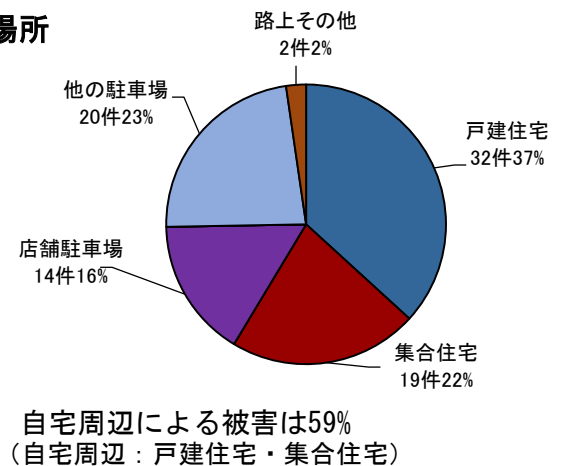
令和7年6月末、県内における自動車盗は87件発生、被害総額は約3億4,190万円、前年比+38件(増減率+77.6%)となっており、約2日に1台が盗難被害に遭っています。



2 被害時におけるキー付きの有無



3 被害場所

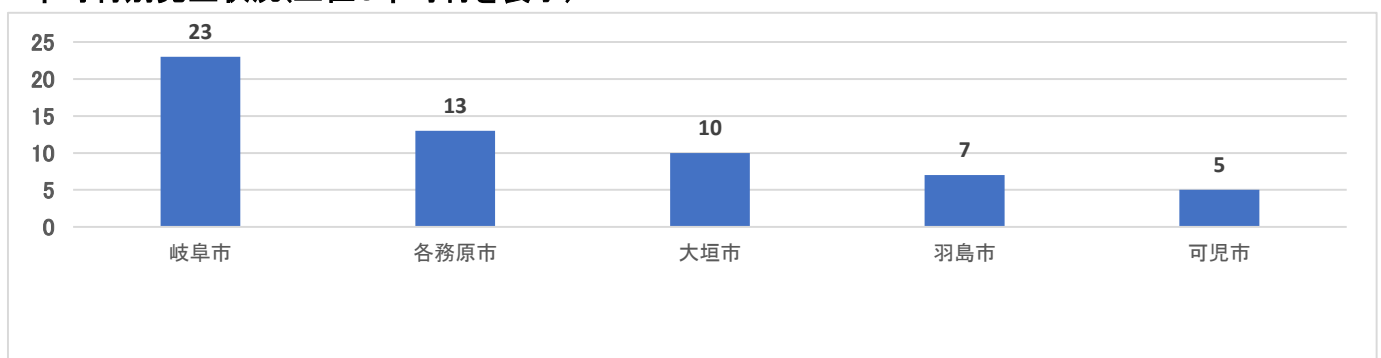


4 被害車両の種別

車種別認知件数	乗用車	貨物自動車	特殊自動車	他の自動車
	69	1	4	0

※ 未遂 13件

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 自動車盗難防止のポイント ～

1. 短時間の駐車でも車から離れるときは、必ず「エンジンキーを抜き」「ドアロック」をしましょう。
2. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。
3. ハンドルロック、タイヤロック、警報機等の盗難防止装置を活用しましょう。

オートバイ盗の発生状況(令和7年6月末)

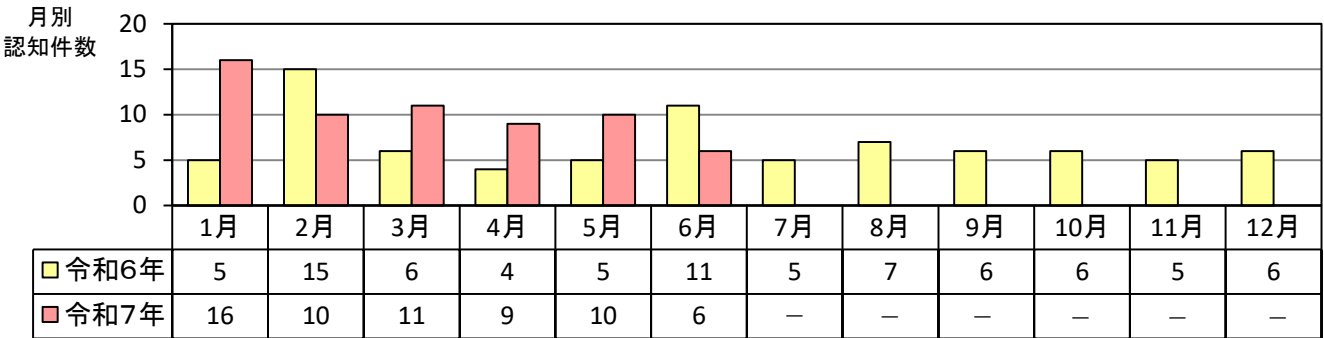
街頭
犯罪

1 認知件数

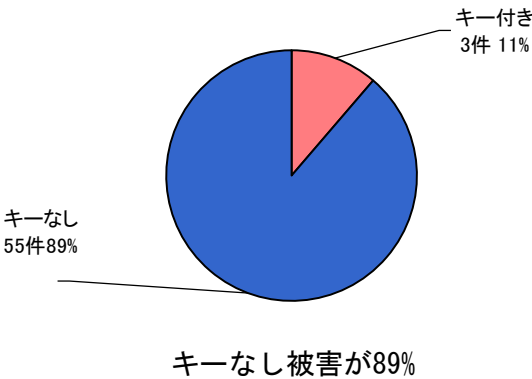
認知件数	前年比	増減率	被害回復件数(前年比)	被害回復率(前年比)
62	+16	+34.8%	35	+18
			56.5%	+19.5%

※ 被害回復とは、検挙等で被害者に返還されたものをいう

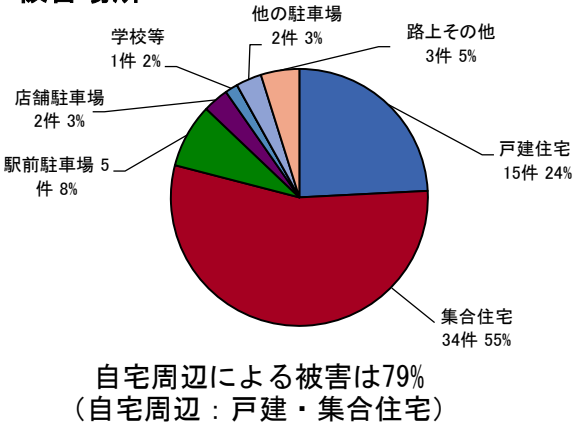
令和7年6月末、県内におけるオートバイ盗は62件発生、前年比+16件(増減率+34.8%)となっており、62件中54件は原動機付自転車の盗難被害になります。



2 被害時におけるキー付きの有無



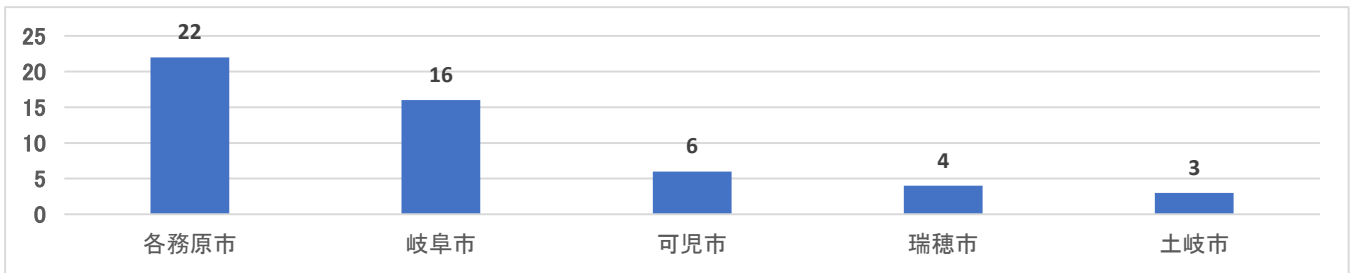
3 被害場所



4 被害者の年代

年齢別認知件数	未成年	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
	3	23	10	8	5	13

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ オートバイ盗難防止のポイント ～

1. オートバイから離れるときは、必ず「エンジンキーを抜き」「ハンドルロック」をしましょう。
2. U字ロックやワイヤーロックで「ツーロック」をして、バイクカバーを掛けましょう。
3. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。

自転車盗の発生状況(令和7年6月末)

街頭
犯罪

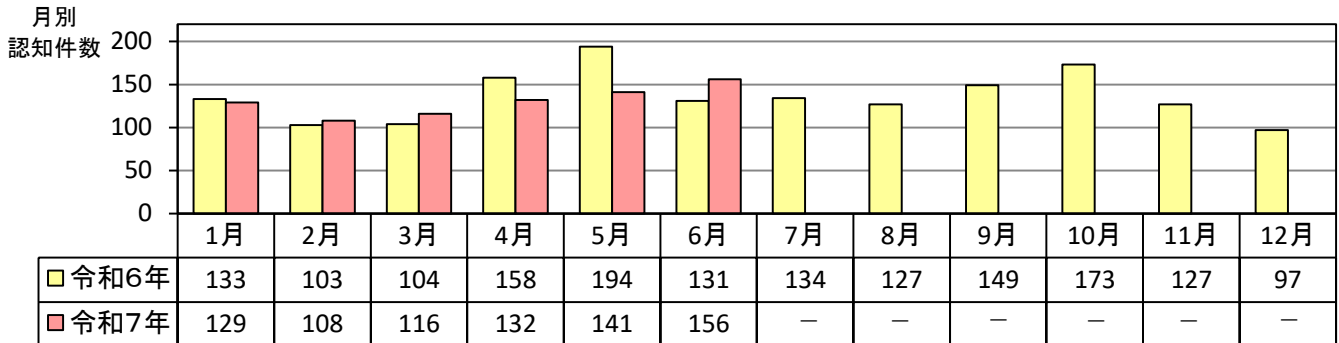
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
782	-41	-5.0%

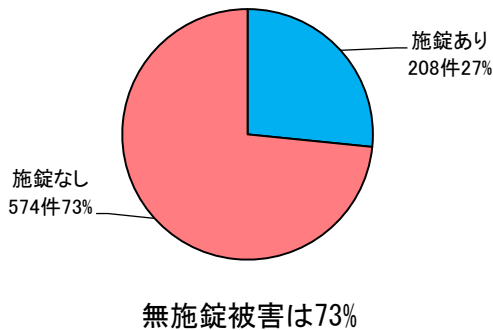
被害回復件数(前年比)	被害回復率(前年比)
413	-2
52.8%	+2.4%

※ 被害回復とは、検挙等で被害者に返還されたものをいう

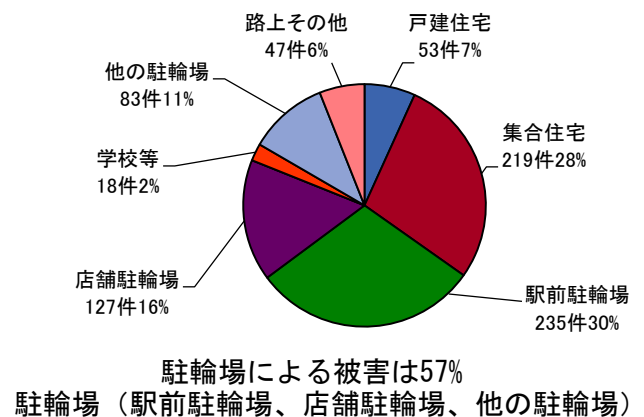
令和7年6月末、県内における自転車盗は782件発生、前年比-41件(増減率-5.0%)となっています。また、自転車盗は刑法犯全体の約13.0%を占め、1日平均約4台が盗難被害に遭っています。



2 被害時における施錠の有無



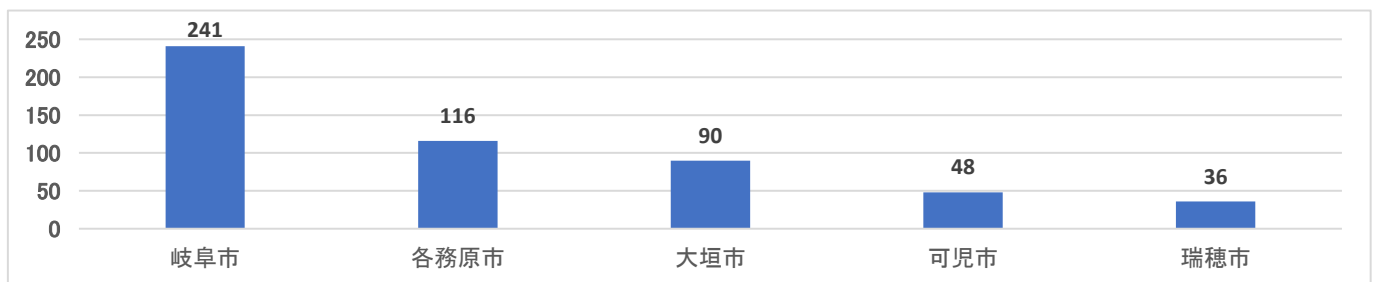
3 被害場所



4 被害者の職業

職業別	小学生	中学生	高校生	大学生	専修生等	学生以外
認知件数	8	52	235	123	37	327
(うち無施錠)	7	40	192	95	30	210

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 自転車盗難防止のポイント ～

1. 少しの時間でも自転車から離れるときは、必ず鍵を掛けましょう。
2. 駐輪する際の施錠は、「ツーロック」をしましょう。
3. 駐輪する際は、防犯設備の整った駐輪場を利用しましょう。

車上ねらいの発生状況(令和7年6月末)

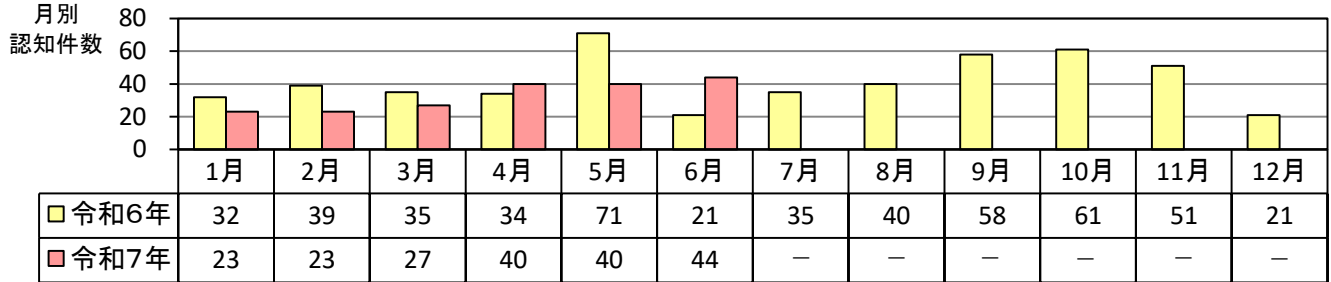
街頭
犯罪

1 認知件数

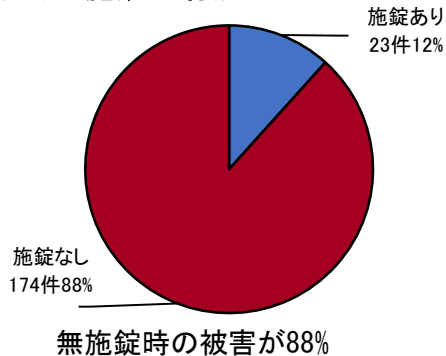
認知件数	前年比	増減率
197	-35	-15.1%

令和7年6月末、県内における車上ねらいは197件発生、被害総額は約984万円、前年比-35件(増減率-15.1%)となっており、1日平均約1台が盗難被害に遭っています。

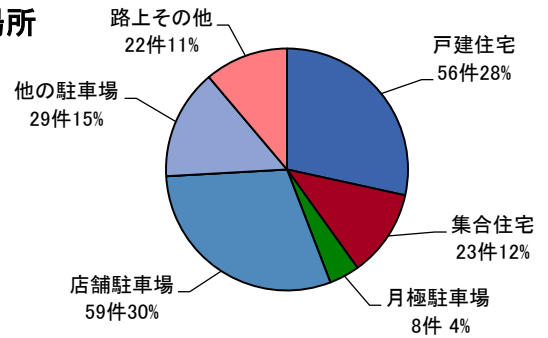
車上ねらい被害のうち174件(約88%)は無施錠の状態に被害に遭っています。



2 被害時における施錠の有無

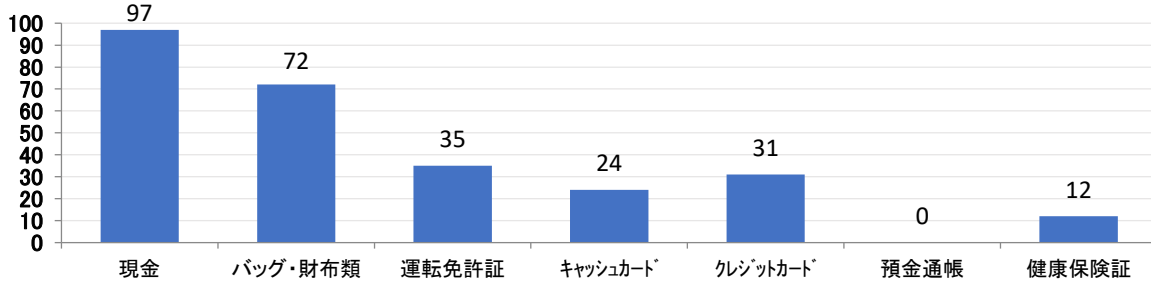


3 被害場所

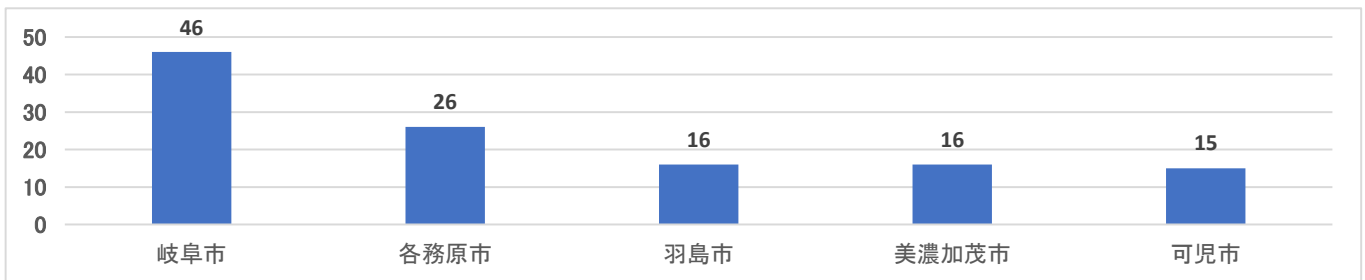


自宅周辺による被害は44%
(自宅周辺：戸建住宅、集合住宅、月極駐車場)

4 主な被害品(被害品を複数計上)



5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 車上ねらい被害防止のポイント ～

1. 駐車時には、必ず「施錠」をして、車内には「カバンや貴重品を放置しない」ようにしましょう。
2. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。
3. 振動センサーなどの盗難防止装置を活用しましょう。

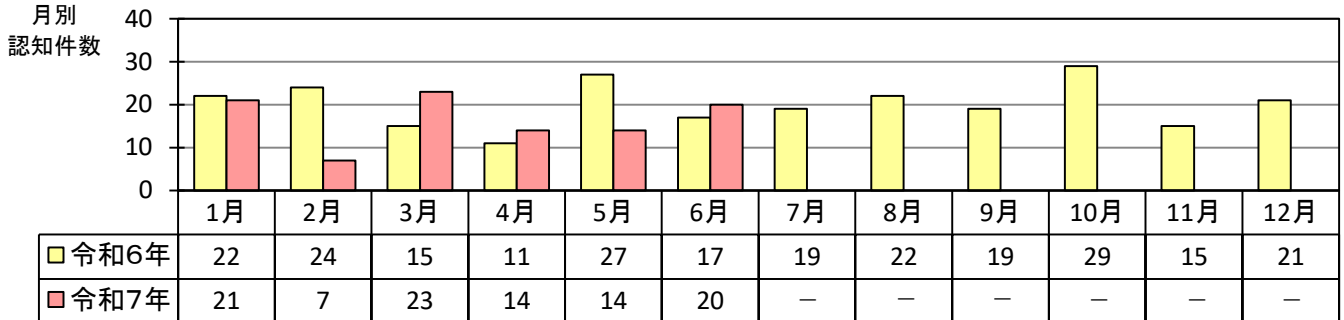
部品ねらいの発生状況(令和7年6月末)

街頭
犯罪

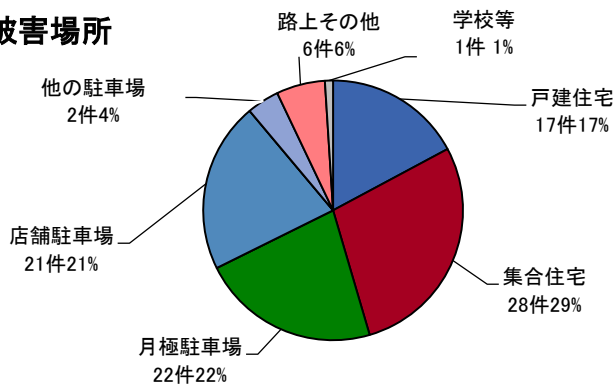
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
99	-17	-14.7%

令和7年6月末、県内における部品ねらいは99件発生、被害総額は約121万円、前年比-17件(増減率-14.7%)となっており、2日に約1台が被害に遭っています。



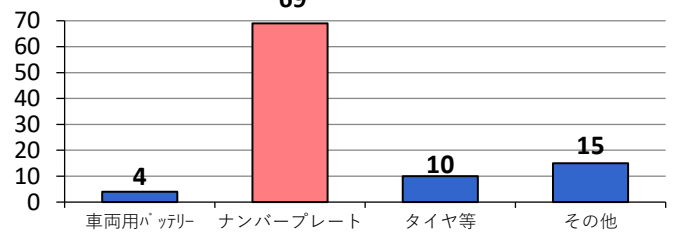
2 被害場所



自宅周辺による被害は68%
(自宅周辺：戸建住宅・集合住宅・月極駐車場)



3 主な被害品



ナンバープレートやその他の車両部品(外装等)の被害が多い。

その他の車両部品(外装等)としてバッテリー、ヘッドライト、エンブレム等が狙われている。

被害を防ぐには、

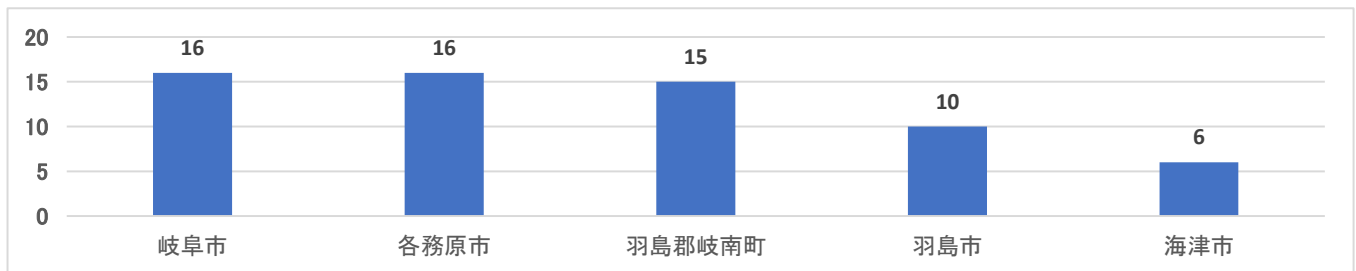
○ ナンバープレート盗難防止ネジ

○ タイヤ盗難防止ナット

○ バッテリー盗難防止ロックナット

などによる**車両部品に対する防犯対策**が必要！

4 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 部品ねらい被害防止のポイント ～

1. ナンバープレートには、「盗難防止ネジ」を装着しましょう。
2. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。
3. ロックナット、警報機等の盗難防止装置を活用しましょう。

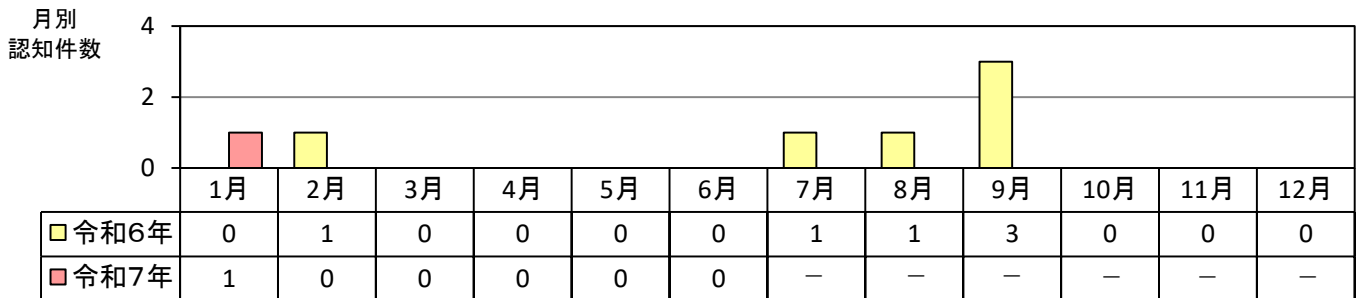
ひったくりの発生状況(令和7年6月末)

街頭
犯罪

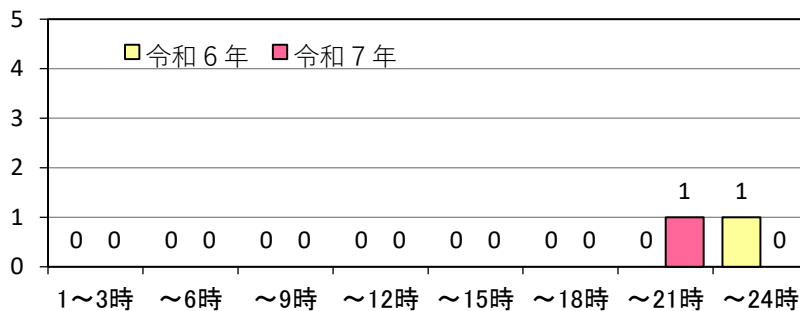
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
1	+0	+0.0%

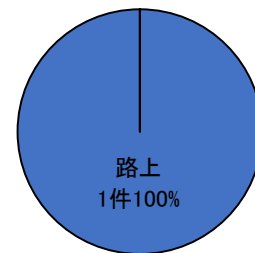
令和7年6月末、県内のひったくりは1件発生、前年比+0件となっています。



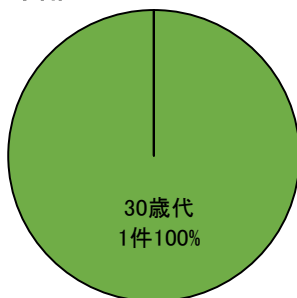
2 時間帯別発生状況



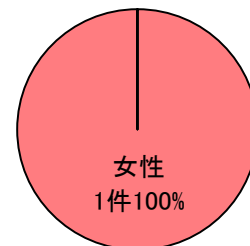
3 場所別発生状況



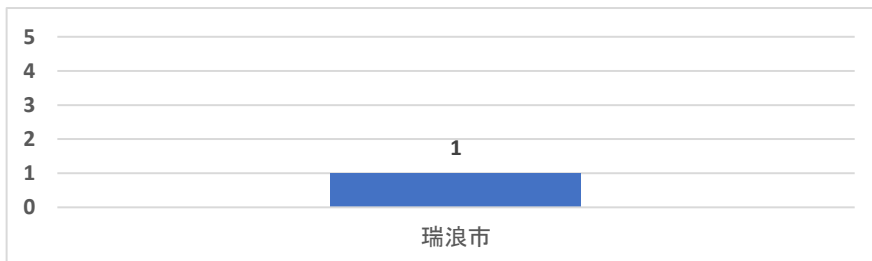
4 被害者の年齢



5 被害者の性別



6 市町村別発生状況



～ ひったくり被害防止のポイント ～

1. 道路や歩道では、車道の反対側にカバンや荷物を持ちましょう。
2. 自転車のカゴには、ひったくり防止のカバーやネットを取り付けるのが被害防止に有効です。
3. 金融機関、ATM等を利用した後などは、特に周囲に注意してください。

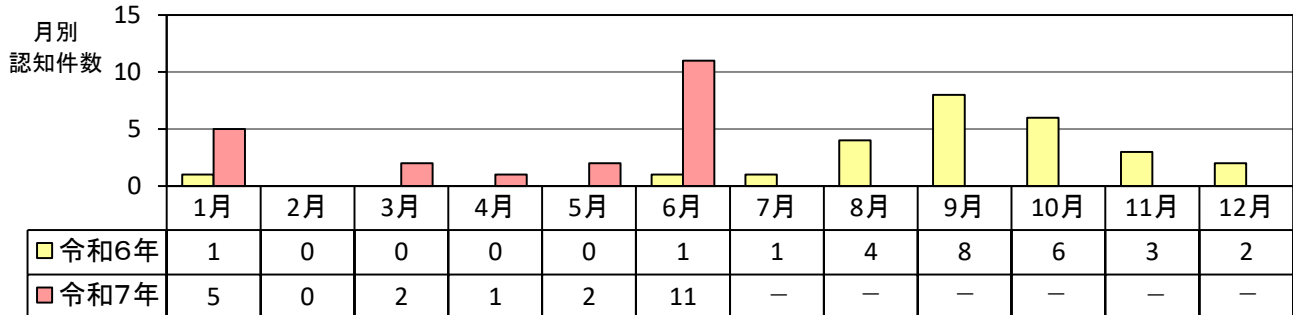
自販機ねらいの発生状況(令和7年6月末)

街頭
犯罪

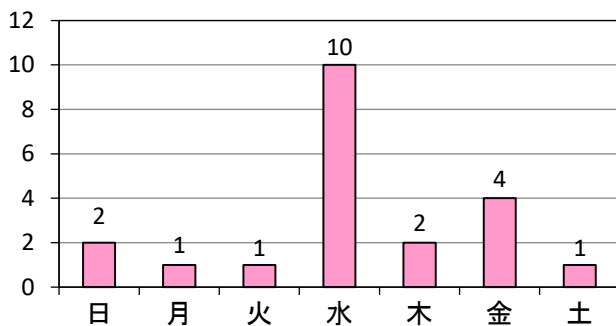
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
21	+19	+950.0%

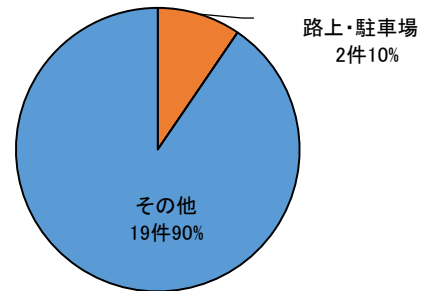
令和7年6月末、県内における自販機ねらいは21件発生、被害総額は約62万円、前年比+19件(増減率+950.0%)となっており、約9日に1件発生しています。



2 曜日別発生状況



3 場所別発生状況



その他による被害は90%

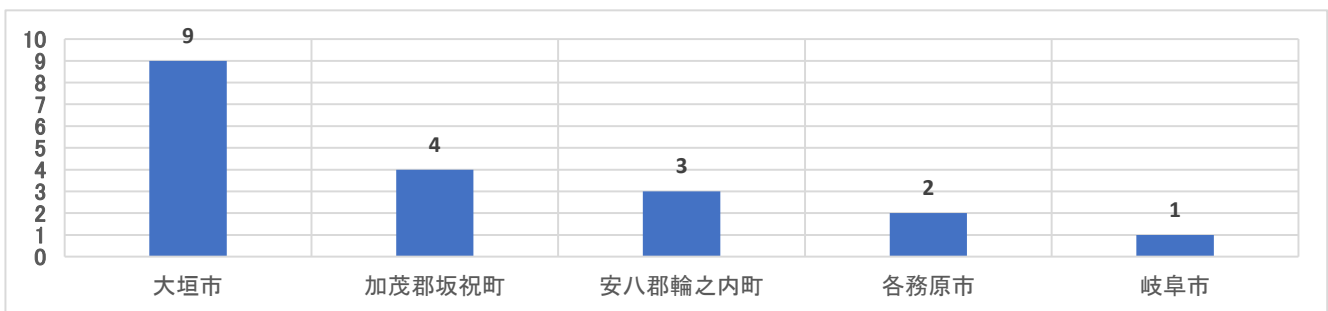
※ その他は住宅・会社・事務所など

4 地域別発生状況

地域別 認知件数	岐阜地域	西濃地域	中濃地域	東濃地域	飛騨地域
	4	12	5	0	0



5 市町村別発生状況



～ 自販機ねらい被害防止のポイント ～

1. 自動販売機の設置場所付近に、防犯カメラやセンサーライト等の防犯機器を設置しましょう。
2. 店内や軒下でも被害に遭っていることから、自動販売機自体を堅牢化しましょう。
3. 自動販売機内の売上金等は、こまめに回収しましょう。

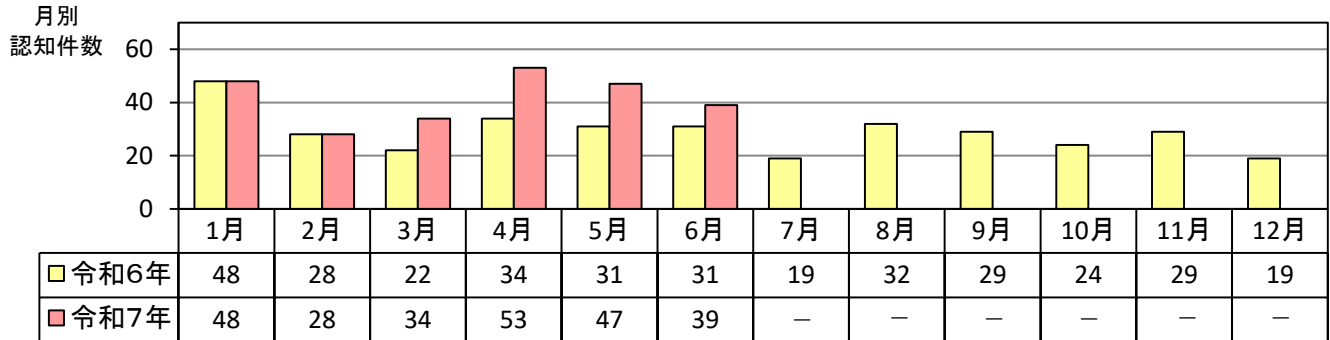
空き巣の発生状況(令和7年6月末)

侵入
犯罪

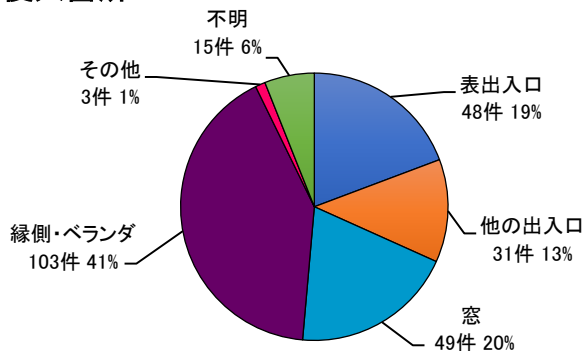
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
249	+55	+28.4%

令和7年6月末、県内における空き巣は249件発生、被害総額は約5億815万円で、前年比+55件(増減率+28.4%)となっており、1日平均約1件発生しています。

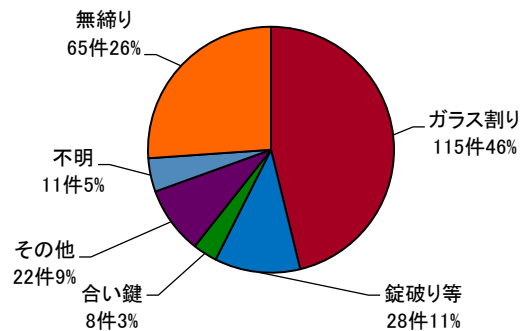


2 侵入箇所



出入口からの侵入による被害は32%

3 侵入方法



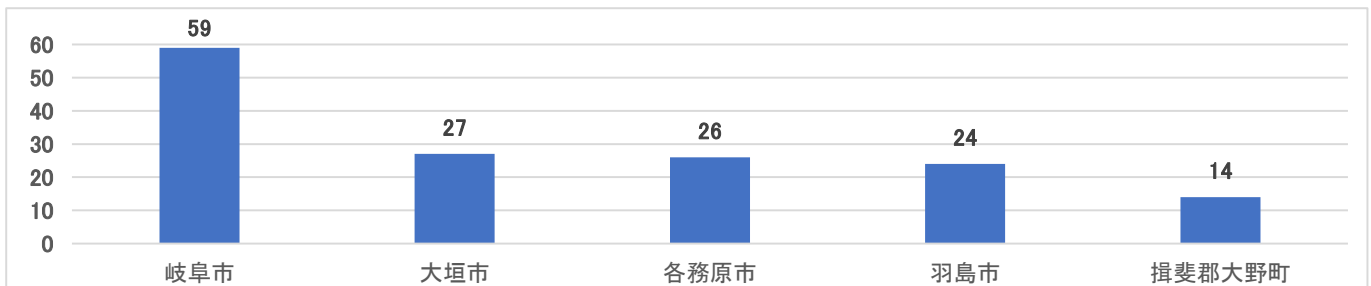
ガラス割りによる被害は46%

4 建物別発生状況

建物別 認知件数	戸建住宅	集合住宅(低層)	集合住宅(中高層)	その他
	217	25	7	0

※ 低層 ~ 2階建て以下
中高層 ~ 3階建て以上

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 空き巣被害防止のポイント ～

- 外出するときは、必ず出入口、窓などに鍵を掛け、無締り箇所がないか確認しましょう。
- 家屋の外周には、侵入の足場になるような物を置かないようにしましょう。
- 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
- 大きな音の出る防犯砂利やセンサーライト、防犯カメラを設置する等、2重3重の防犯対策が重要です。

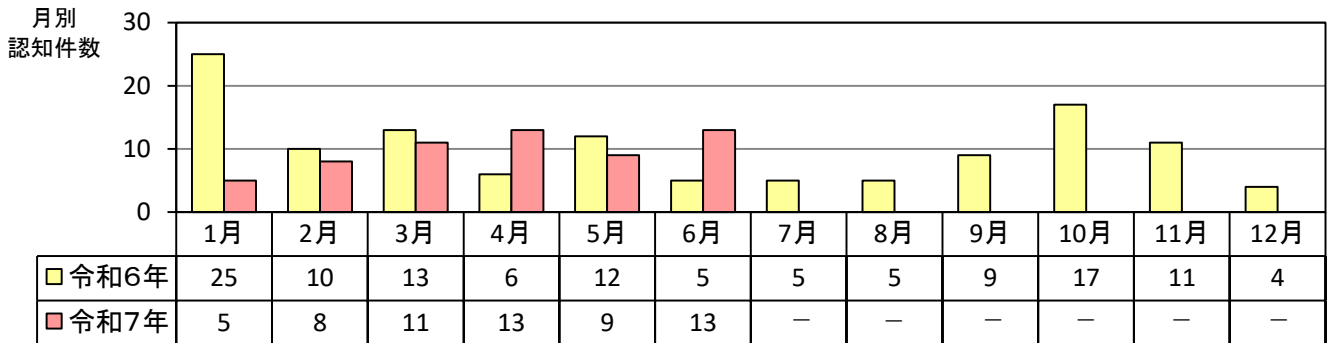
忍込みの発生状況(令和7年6月末)

侵入
犯罪

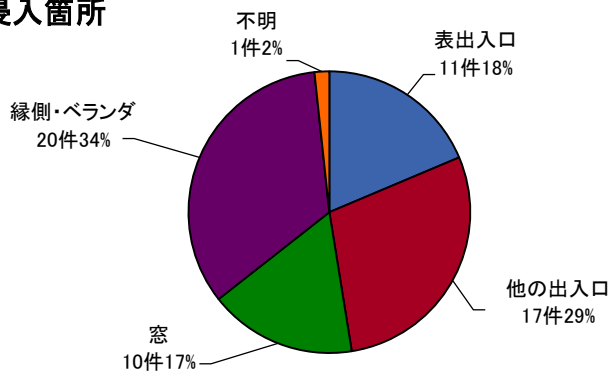
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
59	-12	-16.9%

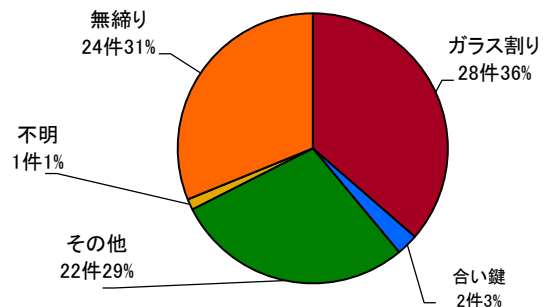
令和7年6月末、県内における忍込みは59件発生、被害総額は約3,144万円、前年比-12件(増減率-16.9%)となっており、約3日に1件発生しています。



2 侵入箇所



3 侵入方法



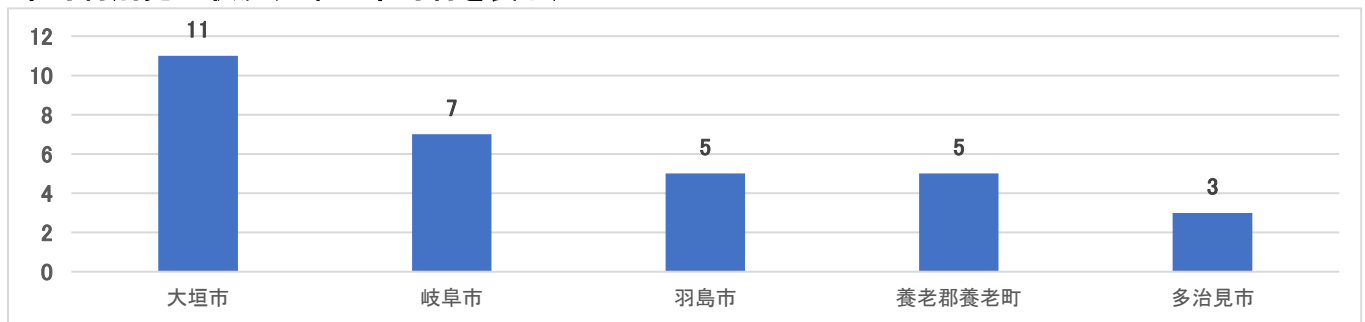
4 建物別発生状況

建物別 認知件数	戸建住宅	集合住宅(低層)	集合住宅(中高層)	その他の建物
	57	1	1	0

※ 低 層 ～ 2階建て以下
中高層 ～ 3階建て以上

※戸建住宅が被害の対象となっている。

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 忍込み被害防止のポイント ～

1. 在宅時も出入口、窓など確実な施錠を習慣づけましょう。
2. 家屋の外周には、侵入の足場になるような物を置かないようにしましょう。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 大きな音の出る防犯砂利やセンサーライト、防犯カメラを設置する等、2重3重の防犯対策が重要です。

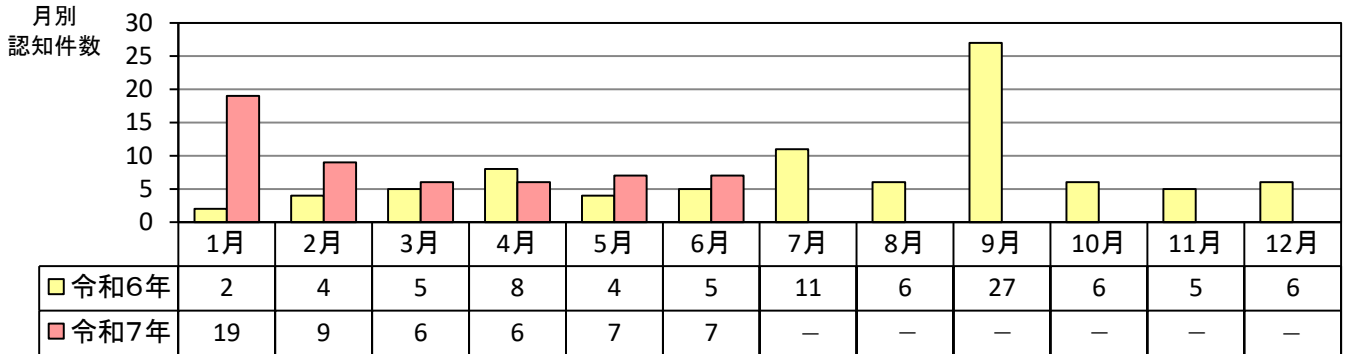
事務所荒しの発生状況(令和7年6月末)

侵入
犯罪

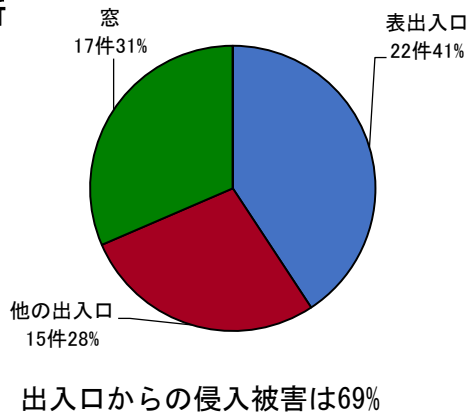
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
54	+26	+92.9%

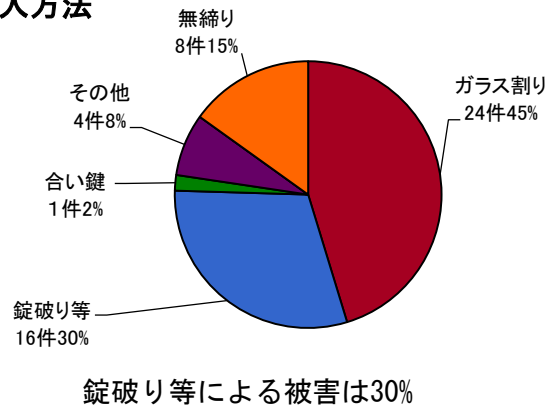
令和7年6月末、県内における事務所荒しは54件発生、被害総額は約1,193万円、前年比+26件(増減率+92.9%)となっており、約3日に1件発生しています。



2 侵入箇所



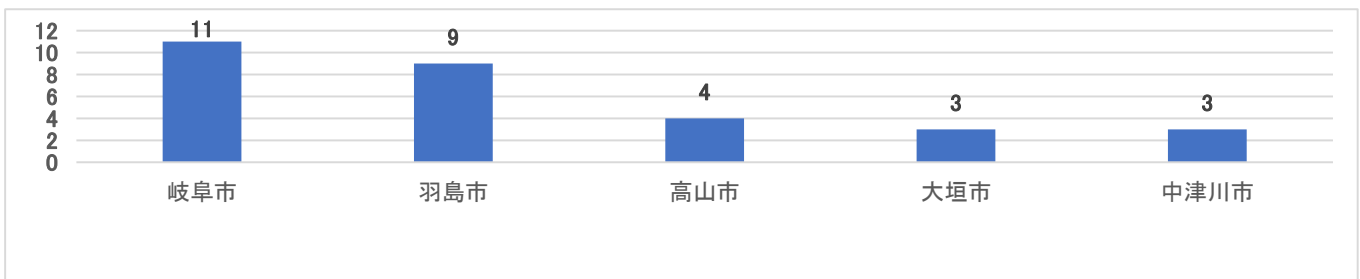
3 侵入方法



4 建物別発生状況

建物別認知件数	会社・事務所	飲食店	他の商店	その他
	47	0	0	7

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 事務所荒し被害防止のポイント ～

1. 事務所の周辺や駐車場などに防犯カメラやセンサーライトを設置しましょう。
2. 警備会社によるセキュリティシステムを導入するのも効果的です。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 事務所が無人となる休日や夜間には、貴重品・現金等を置かないようにしましょう。

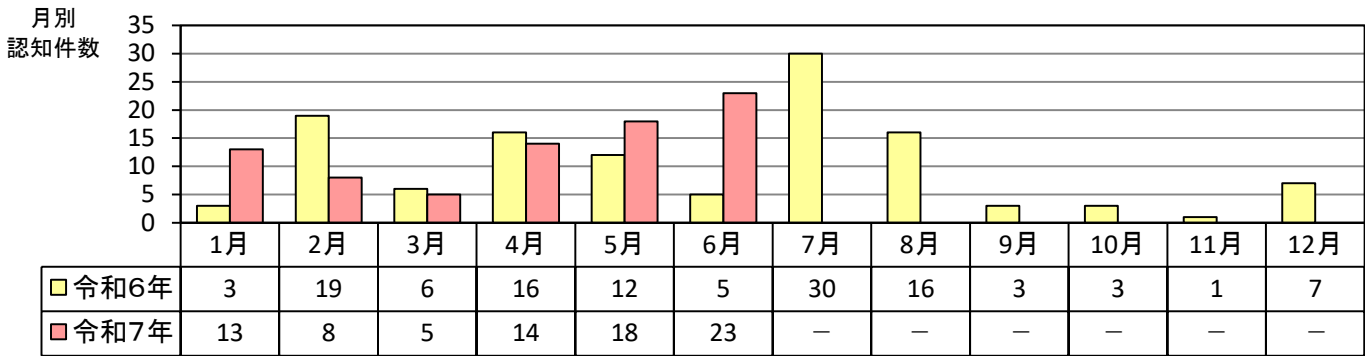
出店荒しの発生状況(令和7年6月末)

侵入
犯罪

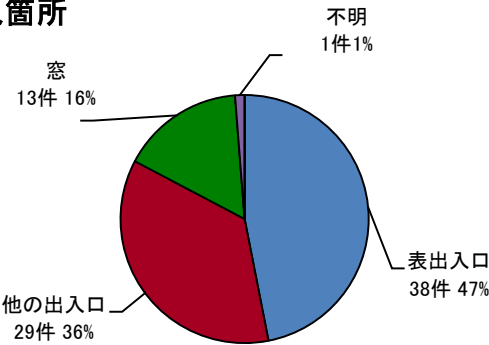
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
81	+20	+32.8%

令和7年6月末、県内における出店荒しは81件発生、被害総額は約1,653万円、前年比+20件(増減率+32.8%)となっており、約2日に1件発生しています。

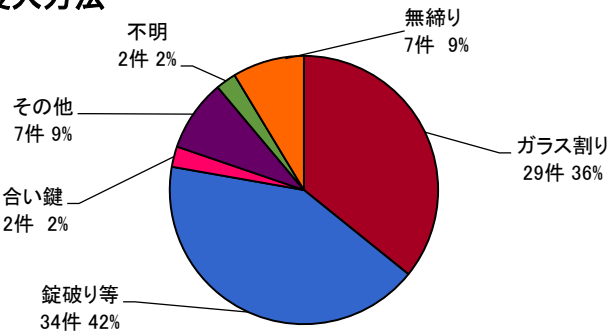


2 侵入箇所



出入口からの侵入被害は83%

3 侵入方法

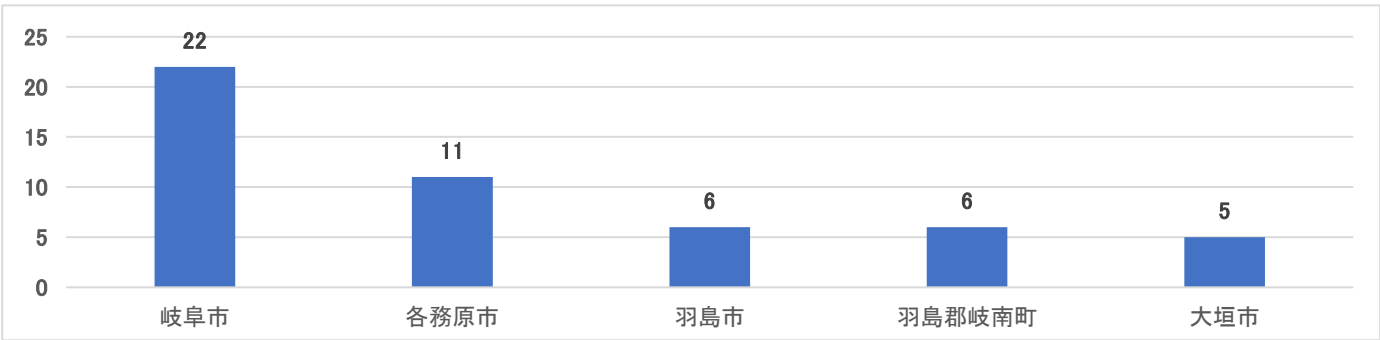


錠破り等による被害は42%

4 建物別発生状況

建物別認知件数	飲食店	他の店舗	会社・事務所	その他
	44	1	1	35

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 出店荒し被害防止のポイント ～

1. 店舗の周辺や駐車場などに防犯カメラやセンサーライトを設置しましょう。
2. 警備会社によるセキュリティシステムを導入するのも効果的です。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 店舗が無人となる休日や夜間には、貴重品・現金等を置かないようにしましょう。

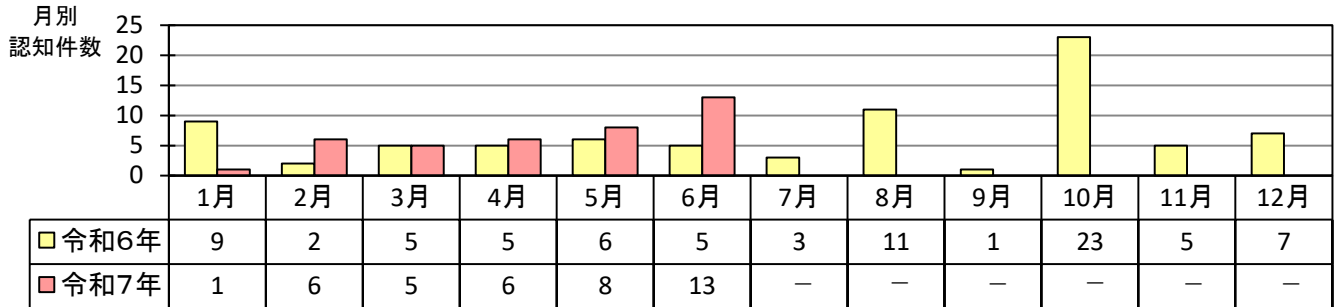
不同意わいせつの発生状況(令和7年6月末)

その他

1 認知件数

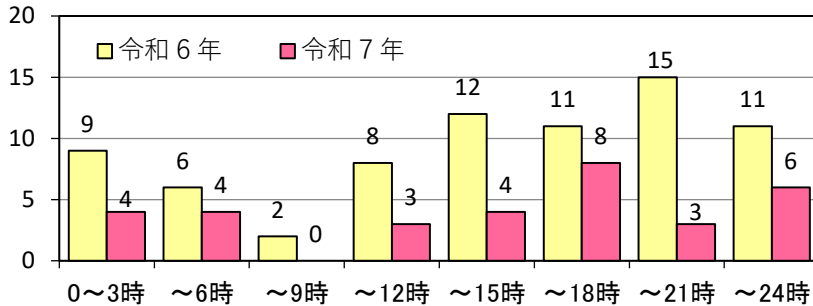
認知件数	前年比	増減率
39	+7	+21.9%

令和7年6月末、県内における不同意わいせつは39件、前年比+7件(増減率+21.9%)となっています。

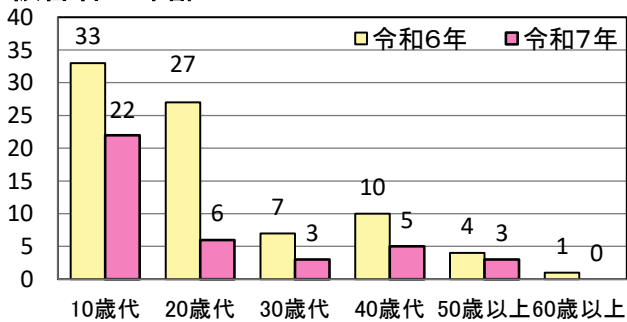


2 時間帯別発生状況

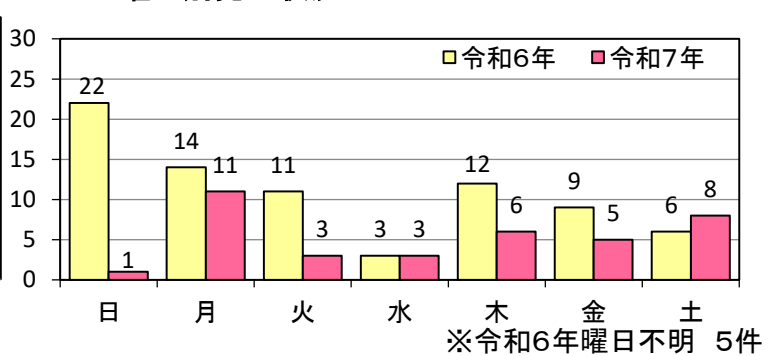
※令和6年 時間帯不明8件



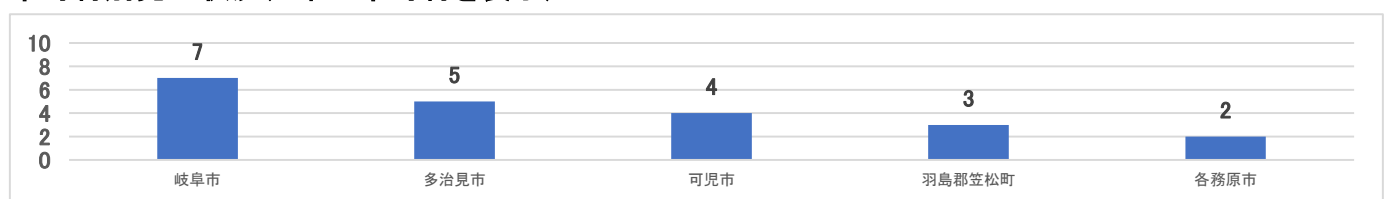
3 被害者の年齢



4 曜日別発生状況



5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 不同意わいせつ被害防止のポイント ～

1. 夜間の外出は、街路灯に照らされ、人通りの多い道を歩きましょう。
2. 道路を歩く時は、イヤホン(音楽)などで耳を塞がず、周りを警戒しましょう。
3. 防犯ブザーなどの防犯器具を持ち歩きましょう。
4. 女性の一人暮らしの場合は、表札の名前を苗字にするなどして、一人暮らしを悟られないようにし、配達や集金を装う者が訪問しても、すぐには扉を開けず、ドアチェーンを掛けて対応するよう心掛けましょう。

万引きの発生状況(令和7年6月末)

その他

1 万引きの認知件数

(1) 令和7年6月末

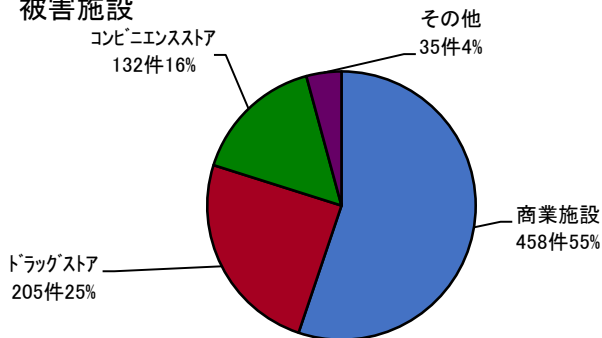
認知件数	前年比	増減率
830	+73	+9.6%

(2) 月ごとの推移(認知件数)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和6年	133	118	115	139	124	128	140	105	139	155	139	131	1,566
令和7年	137	111	146	143	162	131	—	—	—	—	—	—	830

令和7年6月末、県内の万引きの発生は830件、前年比+73件(増減率+9.6%)となっています。

2 被害施設



3 被害金額

順位	場 所	被害金額(千円)
1	商業施設	11,237
2	ドラッグストア	4,096
3	その他	1,203
4	コンビニ	236

- ・ 商業施設における被害額が最も多い
- ・ ドラッグストアにおける一件当たりの被害額は、約20,000円

商業施設における被害は55%

※ 商業施設とは、デパート、ショッピングモール、スーパーなど

4 ドラッグストア対象万引き

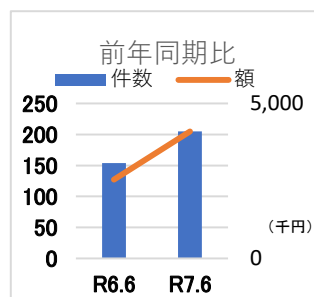
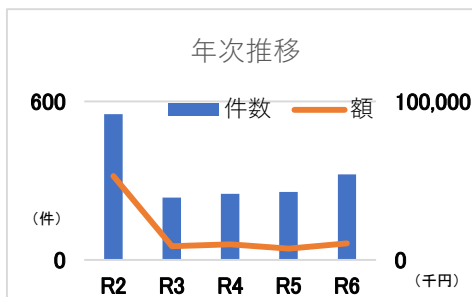
(1) 令和7年6月末

認知件数	前年比	増減率
205	+51	+33.1%

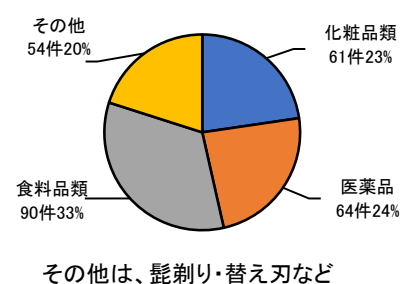
(2) 月ごとの推移(認知件数)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和6年	32	27	36	24	17	18	33	20	25	35	33	24	324
令和7年	41	27	35	29	36	37	—	—	—	—	—	—	205

(3) 認知件数と被害額の推移



(4) 主な被害品(複数計上)



～ 万引き被害防止のポイント ～

1. 来店客には、顔を見て「いらっしゃいませ」などと積極的に声掛けし、万引きをさせない雰囲気づくりに努めましょう。
2. 店舗内に死角が生じないように、商品の陳列棚等の設置場所や商品の陳列方法に配慮しましょう。